

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	10-1																																						
PDCA	主要事業名	交通安全推進事業	部課名	総務部防災安全課	担当	羽山																																						
					内線	288																																						
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 1 - 2 単位施策：交通安全 全体事業期間： 令和 4年度 ~ 4年度 全体事業費等： 1,312 千円 会計 一般会計 歳出科目： 02.01.09.02.02					目標項目（予算計上時に作成）																																						
	事業概要等	事業概要： 半田警察署や交通指導員、地域等と連携した交通安全啓発活動の実施及び交通安全教室の開催等を通して交通安全の推進を図る。																																										
		事業目的： 市民一人ひとりの交通安全意識を高め、事故防止に係る啓発及び対策に努めることで交通事故の減少を図る。																																										
		事業内容： 学童の路上交通指導、交通安全教育指導、高齢者世帯訪問、関係団体と連携した啓発活動を行う。																																										
		問題点・課題等： 重大事故における高齢者の割合が高いため、高齢者に対する啓発に注力する必要がある。																																										
	予算額	主要事業とする理由																																										
	1,312 千円	交通事故は生命に関わる問題であり、交通事故の減少を図るには市民一人ひとりの交通安全意識の向上が不可欠であるため。																																										
	財源内訳	得られる成果																																										
	市費 1,312 千円	市民の交通安全意識の高まりが図られ、交通事故の減少に繋がる。																																										
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人身事故件数</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>445</td> <td>—</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>403</td> <td>403</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	人身事故件数	実績値	—	445	—	件	目標値	—	403	403	件		実績値					目標値					その他	実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位																																							
人身事故件数	実績値	—	445	—	件																																							
	目標値	—	403	403	件																																							
	実績値																																											
	目標値																																											
その他	実績値																																											
	目標値																																											
県費 0 千円																																												
その他 0 千円																																												
D 実績値	決算額	得られた成果																																										
	1,286 千円	交通安全教室及び啓発活動による市民の交通安全意識の向上や交通危険箇所解消の取り組みから人身事故の発生抑制に繋がった。																																										
		成果指標			令和4年度	単位																																						
		人身事故件数	実績値	412	件																																							
		目標値	403	件																																								
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 交通安全教室を実施し子どもの交通安全に関する知識を深めた。また、高齢者には、来庁者へ啓発品を配付する他、啓発規模をコロナ禍前に戻し、交通指導員による世帯訪問や出前講座を実施して交通安全意識の向上を図った。交通安全環境については、ビッグデータを活用した安全対策を、道路管理者や県、警察等と連携して市内3か所を実施した。本市の人身事故件数は前年と比べて33件減少したものの、近年最少値の令和2年人身事故件数403件（目標値）を下回ることができなかったため、関係団体と連携した啓発活動を推進することで交通安全意識を一層高めるとともに、交通危険箇所の解消を継続的に進める必要がある。																																										
		改善推進 引き続き子どもや高齢者に重点を置いた啓発活動を展開する。また、他の世代に対しても広報媒体を活用した幅広い啓発を行うとともに関係団体との連携により市民全体の交通安全意識向上を図る。ビッグデータを活用した安全対策の検討会議について、県主催の会議へ参加する他、新たに市単独で立ち上げ、データに基づく安全対策による交通危険箇所の解消を推進する。																																										
A 課題後の決方向性	今後の事業の方向性																																											
	観点別評価	必要性	有効性		効率性																																							
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減	ない																																					
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	余地																																						
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																																							
主要施策の成果報告書で活用																																												
評価項目（決算時に作成）																																												